

豊富なデータや科学的根拠を示しながら、各国政府の施策や自動車メーカーの動向について、課題や対応策を含めて解説し、2030年までのCO2削減を達成するための道筋を示します。

【2025年版】

自動車業界の未来

差し迫る温暖化危機の中、CO2削減は待たなし

～drop in fuel 無くして2030年以降の未来はない～

講師：Touson 自動車戦略研究所 藤村俊夫 先生

1980年トヨタ自動車工業入社。入社以来30年間、本社技術部に於いてエンジンの設計開発に従事。専門はエンジンの機能部品設計（噴射システム、触媒システムなど）と制御技術、および各種性能改良。2004年に基幹職一級（部長職）となり、将来エンジンの技術シナリオ策定に従事。2011年より愛知工業大学に出向（2015年に転籍）機械学科教授を経て2017年に独立。現在は自動車関連技術のコンサルタントとして活躍している。

※2024年10月に撮影した最新版となります

<講義概要>

第1～3章では「2030年間までにCO2削減目標を達成するためには電力だけでなく燃料の脱炭素化が必要であること」「電動車の技術動向、課題、その対応策」「各国政府、自動車メーカーの電動化戦略」についてデータや根拠を示しながら解説します。第4章では、2030年間までにCO2削減を達成するための道筋について、（政府の）規制強化、（メーカーの）規制対応、drop in fuelの観点から説明する。第5章では、2030年以降、自動車メーカーが生き残るための戦略について講師の考えを紹介する。

<プログラム>

第1章 CO2削減は待たなし！2030年は人類の未来に向けた岐路となる

-電力のみならず燃料の脱炭素化なくして削減目標達成は不可能-

1. 気候変動に伴う世界各国の被害状況
2. 世界のCO2総排出量トレンド
3. COPでの成果と進捗
4. 2023年G7環境大臣会合での自動車に関する共同声明
5. トヨタが2030年に向けたCO2削減シナリオ
6. 1次エネルギー消費構成状況と日本政府の表明する最新のエネルギー基本計画
7. 電力、燃料のグリーン化
8. 水素燃料転換に向けた各国、各産業の動きと課題

第2章 電動車の技術動向と各種課題への対応

-全方位開発による適時・適地・適車での対応が不可欠-

1. 自動車業界を取り巻く多くの課題
2. エンジン改良技術の動向
3. 車両軽量化目標の設定とその根拠
4. ギガキャストのメリットとデメリット
5. 電気自動車（EV）の技術動向
6. 電池密度改良目標の妥当性
7. 次世代車のコスト/重量/航続距離比較
8. 何故、全固体電池が将来有望？各社の開発動向は？
9. 各国のEVのWtWCO2排出量比較
10. 各国のHEVとBEVのLCA-CO2排出量比較

第3章 各国政府、自動車メーカーの電動化戦略

-各国地域における販売動向からみた戦略の妥当性-

1. 各国政府の電動車導入の表明とその実態
2. 各国・地域の今後の基準強化案の妥当性
3. 中国の技術ロードマップ
4. 各国のEVへの補助金と税制優遇と自動車販売状況
5. 各国主要メーカーの戦略
6. 2012～2023年世界のEV・PHV販売状況の分析
7. ストロングHEVの将来性

第4章 実現するための道筋

-ユーザーニーズとCO2削減目標達成を両立するバックキャストによるシナリオ-

1. 世界各国・地域ごとの新車販売台数と販売台数増予測
2. 今後の電動車（xEV）展開シナリオ策定に向けた考え方
3. EV展開各社の対応セグメント分析
4. 2030年各国・地域ごとのセールスマックスと電動車比率と規制値の整合性
5. 2030年CO245%削減に向けた技術の道筋

第5章 トヨタ、VW、テスラ、BYD2030年以降生き残るための戦略

1. あるべき将来モビリティの棲み分け
2. 各大手自動車メーカーが生き残るための戦略は？
3. CO2削減に向けてのシナリオ

【視聴期間】 アカウント発行から4週間 ※何度でも視聴できます

【受講料】 1アカウント33,000円（税込）

【時間】 約4時間10分（250分）

【テキスト】 印刷物（弊社から郵送）

<お申込要項>

下記に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください（※は必須です）


FAX
03-6261-7924

申込講座	【2025年版】自動車業界の未来 差し迫る温暖化危機の中、CO2削減は待ったなし		
プラン	1 アカウント（視聴期間：4週間）		
会社名※			
所在地※ <small>（請求書等の送付先）</small>	〒		
参加者①	氏名※		TEL※
	所属※		FAX
	Email※		役職
			@
参加者②	氏名※		TEL※
	所属※		FAX
	Email※		役職
			@
支払方法※	<input type="checkbox"/> 銀行振込（紙請求書） <input type="checkbox"/> 銀行振込（PDF請求書） <input type="checkbox"/> カード支払い <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する		
支払予定日※	<input type="checkbox"/> [] 月 [] 日ごろを予定している <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する		
備考※			

お申込について

① 以下のいずれかの方法でお申込みください

A	FAX	上記に必要事項をご記入の上、送信ください
B	E-mail	送信先： entry@tech-d.jp メール本文に<①【申込講座】 ②【会社名】 ③【所在地】 ④【氏名】 ⑤【所属】 ⑥【Email】 ⑦【TEL】 ⑧【支払方法】、⑨【支払予定日】>をご記入の上、ご送信ください
C	Web	https://tech-d.jp/ の各講座のページからお申込みください

② お申込受付後、受付完了のご連絡（メール）をいたします

③ 1 営業日以内に、受講方法のご案内メールおよびテキスト・請求書の発送をいたします

④ 5 営業日以内に、請求書を発送いたします ※カード支払の場合、決裁案内メールを送信いたします

<注意>

① お申込後、受付完了のメールがなかった場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください

② サービスの性質上、お申込後のキャンセルは受け付けておりません。予めご了承くださいませようお願い申し上げます。

お支払について

<期日>

受講料はお申込日の翌月末日までにお支払いください

※期日までに間に合わない場合は、対応いたしますのでご一報ください

<方法>

① 銀行振込（振込手数料は御社にてご負担願います）

② クレジットカード（支払方法はメールでご案内します）

【お振込先】

振込先銀行	三井住友銀行
支店	多摩センター支店（909）
口座番号	（普）0973522
名義	株式会社テックデザイン

主催 申込・問合せ先	名称	株式会社テックデザイン（ http://www.tech-d.jp/ ）		
	住所	〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-9-14 九段南センタービル 5 階		
	電話	03-6261-7920	FAX	03-6261-7924
	E-mail	entry@tech-d.jp（申込） / info@tech-d.jp（問合せ）		